

三重県立上野高等学校  
同窓会報

VOL.13

白 HAKUA 亜

事務局：〒518-0873  
三重県伊賀市上野丸之内107  
上野高等学校内  
TEL & FAX：0595-24-2231  
ホームページ：  
http://www.ict.ne.jp/~hakua/  
E-mail：hakua@ict.ne.jp



プロフィール  
おかもと さかえ さん  
伊賀市長、元関西テレビアナウンサー、放送局勤務の傍ら神戸女子大、三重大での非常勤講師を兼務。伊賀の文化・歴史、古美術に造詣が深いことでも知られる。



プロフィール  
にしだ まこと さん  
整形外科医院長。公益財団伊賀市芭蕉翁顕彰会会長。「年輪」に所属。年輪会会長。俳人協会評議員、三重県俳句協会、俳人協会顧問。年輪賞、汝鷹賞受賞。句集に「星辰」、「蕉郷」。

芭蕉・俳句との出会い

岡本 先輩の西田さんは芭蕉翁顕彰会の会長で俳句の実作者でもいらつしやいます。子どもの頃は芭蕉さんとかかわりはどうでしたか。

西田 小学校の時は俳句づくりの勉強があつたぐらいで俳句コンクールもなかつたです。俳句を始めたのは、家内の母が橋本鶏二の弟子で、ある日に橋本先生を招いた時、誘われて参加したのがきっかけです。高野素十の「百舌鳥の子の鳴くと振るとがちぐはぐに」など、自然をよく見た句を示され、こんな作り方でいいんだよ、と言われ、それだつたら、と思つて始めました。

岡本 会長は医師で理系の方だから科学の目で見ますよね。もちろん私情が入つても目で写しとり叙述するところに惹かれたのでしょうか。

西田 橋本先生は、「見たものを言葉にする。考えるのではなくよく見よ。」とさかんに言われました。知識で考えるのではなく、自分でまっすぐ見る。初心者にも大切なことです。岡本 宿題に出されるからか、俳句って難しく詠まないといけない、とつい身構えてしまいましたが、本当は素直に詠むのです。芭蕉も出来の悪い弟子に素直に書いたらいけないか、と言つてますね。

特別対談

“芭蕉生誕370年”を語る

伊賀市長 岡本 栄さん(高21回) V.S. 芭蕉翁顕彰会長 西田 誠さん(高5回)



同窓会館で、中央は故大西金次郎氏(中21回)作の芭蕉像

西田 橋本先生が名古屋から伊賀に戻られて句会の世話役を任せられました。吟行の場所を設定して先生の詠み方を勉強しました。でも選は厳しかったですね。

伊賀の人と芭蕉

岡本 今年「芭蕉翁生誕370年」ということで記念事業を展開していますが、この伊賀にあんな人がよう生まれたもの

いいのだと伝わる。指導できる方をたくさん育てることが必要です。

岡本 俳句を作るのは伊賀で育つた者の宿命のようで、大人になると体に染み込んでくるものがあります。私がアナウンサー時代に「リポートの中には時々俳句が入っていますね。」と言われたことがあります。よその出身者とは違うものを身につけさせてもらったな、と思つていま

俳句・俳諧を世界遺産に

西田 芭蕉祭を始めた当時の市長さんは、敗戦直後の食糧難の中で「これからは文化を大事にする時代だ」として芭蕉祭を盛り上げていくと言われました。

岡本 外地を見てきた方だけに大事なことが見えていたのでしょう。今年の「生誕370年」は俳句・俳諧を世界文化遺産へ押し上げていく研究の年にしたいので各方面の方々に相談をして準備会を立ち上げる考えです。

西田 西洋では神があり人間があると考えるのに対して日本人は自分も自然の中のひとつにすぎないと考えます。西洋でもこれに気付いてきているので俳句が広まることもその一助になると思います。

芭蕉翁記念館と今後の顕彰

西田 老朽化した記念館に代わる新しい建物を希望しています。「ひとの体制も学術、企画、事務に部門分けして。芭蕉のことは伊賀に行けば分かる、と言われるくらいの意気込みをもってほしいですね。

岡本 顕彰会は芭蕉の思いを顕彰するのが仕事なので、経営は行政の責任であるのがよいと思います。未来への投資という事で考えるべきでしょう。

西田 生誕地は日本唯一ここにしかないのだし、発展させるには記念館は国立にすべきでしょう。(笑)

岡本 国内だけでなく世界の人をお迎えできる受け皿も心構えもしっかりと準備しとかなければいけません。そのために子どもたちには芭蕉を中心に郷土学習に力を入れていこうと思つています。また、市民の皆さんが月見の献立を作ってみよう、など身近に提案してもらおうように私達はいろいろな提案していくべきだと考えています。(取材 安屋宣子 高19回、松本ひとみ 高52回)

同窓会会長 左橋佳三

上野高等学校同窓会の皆様方におかれましては、益々ご健健にご活躍のこととお慶び申し上げます。平素は同窓会の事業運営に對しまして、物心両面に亘りご理解、ご協力を頂き、また、年会費につきましても、多くの方々毎年ご納付賜り、お蔭で同窓会事業も滞りなく運営出来ておりますこと大変な難く存じております。

本年同窓会も、物故会員を含めまして約四万三千名の会員を擁する大きな組織となり喜ばしく存じますが、残念ながら、仕事の都合が一部の方を除き希薄であるように感じているのは私だけではないと考へます。従いましてこうした若い方々にも魅力を感じていただける同窓会となるように努めて

ごあいさつ

学校長 土肥稔治

上野高等学校同窓会の皆様方には日頃から本校の教育活動に對して、ご支援ご協力をいただきありがとうございますことについてお礼申し上げます。

本年4月の入学式で、全日制279人、定時制12人の新入生を迎え、新年度がスタートしました。伊賀地域は、生徒数の減少が進む中、名張市内の高等学校再編も具体化して新しいステージを迎えようとしています。本校としては、これらの状況を踏まえつつ、生徒の将来の希望を叶え、楽しい学校生活を送れるよう、授業研究や部活動の充実などに取り組んでいます。

さて、最近の教育に関する話題として、学力の向上が大きく取り上げられ、国の方でも高校と大学の接続について議論しているようです。国では学力を「知識や技能はもちろんのこと、これに加えて、学ぶ意欲や自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力等まで含めたもの」と表現しています。大変難しい表現ですが、一つには基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得させること。二つ目に

いかなければならないと、強く責任を感じております。一方、国際化、情報化等の急速な進展、或いはエネルギー問題、少子高齢化問題等、深刻な課題が山積している現状を踏まえ、こうした時にこそ、地域的にも、年齢階層的にも大きな拡がりのある同窓会相互の連携を密にすると同時に、情報の交換或いは親睦を図り、結束を固め、連帯を深めていただければ、同窓会そのものの意義が一層高揚するものと考えます。なお、毎年のことながら、同窓会報「白亜」の発刊に際し、原稿等をお願い申し上げました方々、並びにご尽力いただきました会報委員会の皆様方に、心からお礼申し上げます。

あとになりましたが、同窓会員皆様方のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げますと共に、今後とも一層のご理解、ご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

は、これらを活用する思考力や表現力、判断力などを育むこと。三つには自ら進んで学習しようとする意欲や態度を育成することと理解できます。すなわち、社会に出て必要となる基礎的な知識も、人とうまく話が出来るとコミュニケーション能力も、学習意欲も必要であるという事です。しかし、現実には、大学入試でも就職活動でもペーパーテストの点数が高ければ学力が高いと見られるのが現状です。

そのため、本校の教育として大学に入るための力の育成はもちろんです。学校行事やホームルーム活動を通じて、自分の考え方を表現する力や他人を思いやる力、人と話をして相手を理解できる力など、社会に出てから必要となる力を養おうと考えています。その手立ての一つとして、先輩の皆様方に本校を訪問していただき、社会で起きていることや様々な職業の具体的な内容を教えていただくことが大変効果的であると考へておりますので、ご協力いただけましたら幸いです。上野高等学校は地域を代表する学校としてこれからもその役目を果たしていく覚悟でございます。今後ともご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

紅花や尚説難き尼寿貞 充子  
藤井さんは、1960年からホトトギス派で活躍していた菊山九園・享女夫妻の膝下で句会のお世話をしながら自然と俳句の世界に入っていた。

6月2日。暑い日ざしが照りつける中、愛染院で「寿貞忌」が執り行われた。芭蕉の遺髪を納めた故郷塚に色鮮やかな紅花が供えられた。この催しは俳句愛好会の有志で、芭蕉と縁のあったと言われる寿貞の命日に毎年行われている。午後は句会が開かれた。故郷塚の前には、寿貞の訃報を聞いて詠んだ芭蕉の句碑が…。

「数ならぬ 身と思ひこそ 玉まつり」  
句意は、生涯を不幸せに終わったお前だが決して取るに足らぬ身だなど思つてはいけないよ。

この寿貞忌の中心になっているのが俳誌『芭蕉伊賀』主宰の藤井充子さん。「寿貞尼については諸説あって、なぜの人ではあるが、人間芭蕉を考えた時に不可欠な人である。俳句に携わっている者としてはおろそかにできない」という。

まさにゼロからの出発である。資金面などの苦労は絶えなかった。しかし、「やりかけたならへこたれてはならない」という強い意志を持って前へ前へと進んでいった。この9月で創刊二〇〇号を数える。「自然の心で故郷を詠む」をモットーにここまでやってきたという。

1990年、高浜虚子の高弟である伊藤柏翠氏が、伊賀を訪れた際に「芭蕉生誕の地に俳句雑誌がないのは残念」と言われたことに奮起し、98年1月、柏翠氏に命名してもらった誌名の『芭蕉伊賀』を発刊。伊賀地域を中心とした約140人の俳句愛好家に投句を呼びかけた。

2001年6月にはポストンでの北アメリカ俳句国際フェスティバルに参加し、そこでも芭蕉の名を広くアピールしてきた。

# 主宰の「芭蕉伊賀」二〇〇号に 藤井充子さん(高1回)



藤井充子さん(高1回)

## 松尾芭蕉翁 生誕370年記念事業

- 8月30日(土) 旅しよう(バスツアー) 芭蕉翁の足跡をたずねて 義仲寺(大津)一落柿舎(嵯峨野)一東本願寺[南御堂] 難波別院(大阪)
- 8月31日(日) 午後1時30分 芭蕉さんの俳句のこころと禪のこころ 記念講演「芭蕉さんから学ぶこと」 会場▷萬寿寺(伊賀市柘植町山出) 講師▷戸上宗賢氏 玉滝寺前住職、龍谷大学名誉教授(高4回)
- 9月14日(日) 午後1時30分 講話「芭蕉翁のこころ」 会場▷ハイピア伊賀3階コミュニティ情報プラザ 講師▷戸上宗賢氏 玉滝寺前住職、龍谷大学名誉教授(高4回)
- 9月28日(日) 午後5時~9時 ぶら~り ぶら~り「ふるさと芭蕉の森」へ 会場▷鳥ヶ原 旧大和街道筋
- 10月11日(土) 芭蕉祭前夜祭「灯りの城下町」
- 10月12日(日) 第68回芭蕉祭
- 10月13日(祝) 俳諧アニメーション「冬の日」鑑賞会

## ふるさと伊賀 なう

公式ポスター



古川タクさん(高11回)作  
現日本アニメーション協会会長

## 伊賀上野観光大使



千代の国憲輝  
伊賀ではじめての幕内関取



いが☆グリオ  
十六茶のCM等で大活躍



伊賀フットボールクラブくノ一  
なでしこリーグ昨年4位

ふじい あつこ さん  
伊賀市芭蕉翁顕彰会理事  
芭蕉祭献俳句 生徒児童の部選者

「元気の源は？」と尋ねたら、「俳句！」と、大きな声が返ってきた。俳句があったから、つらい事、悲しい事にも耐えて来られたし、それに勝る喜びも俳句によって得られたと言った。俳句そのものが人生で、自然を相手に、見る、聞く、匂う、味わう、触れるという五感を働かせる事により心が豊かになれるとのこと。

夜になると、句の選定が待っている。月に5000句以上の作品に目を通すのだと言った。

## 懐かしの先生を訪ねて ⑬ 厳しさは、優しさ 松田 武昇 先生



「体育館での校長の訓話の途中でも、生徒がざわついていたら『やかましいっ』と怒鳴っていたのは、僕だけだったかなあ。」と、教員時代を振り返り語り始めてくださった。

「何事にも真剣に向き合い、プラスαのことをしないと意味がない」というのが持論。常に120%で取り組む姿勢から放たれるオーラは退職して10年以上経った今も健在である。

数学教師として、多気郡大台町の宮川高校が初任地だった。3年後、上野高校阿山分校に転任して5年、その後、本校で10年間勤められた。自身も上高OB(高11回)で、長距離走が得意だったためか上高入学時に陸上部から誘われた。が、復活した弓道部の第一期生となったそうだ。

教師としての修行と確立の時期を、上高の个性的かつ魅力的な恩師と同僚と共にいられたことは、大きな意義があったという。部活の顧問としても、弓道・男子バレー・写真など、多岐にわたる足跡がある。中でも写真は、地学の奥山茂美先生から手ほどきを受け、知事賞も受賞された。

定年退職前年の平成13年、上野市制施行60周年に合わせ伊賀市内の芭蕉句碑を集めたカルタの制作があり、写真班の一員として約60の句碑の撮影にかかわられた。5年ほど前、その中から価値が高いとされる7基の句碑の写真が『伊賀芭蕉句碑』の絵はがきとして刊行された。それもあって今年の芭蕉翁生誕370年の模様も興味深く見守られている。

夫人と二人の静かなご自宅の部屋には、名張桔梗丘高校で退職の際に贈られた絵画と寄せ書きが大切に飾られている。寄せ書きには「厳しいご指導に心より感謝」の文字がいくつも並んでいる。一人一人の個性や将来のビジョンを実現させるために、教育の現場に常に身を置き続け、育て培ってきたものは、目に見えるどんな実績よりも熱く、先生の手にあると感じられた。

(取材 東谷 薫 高32回)

## 「芭蕉と横光」をテーマに 第16回「〈雪解〉のつどい」

3月15日に第16回横光利一の人と文学を偲ぶ「〈雪解〉のつどい」がハイピア伊賀の多目的ホールで開かれた。今回は、伊賀市の「芭蕉翁生誕370年記念事業」への参加と、研究団体・横光利一文学会との合同の開催が特色。

- ☆朗読 横光利一 「わが郷土讃」 柘植小六年生 稲鶴未来さん
- ☆講演「芭蕉と横光利一」 奈良女子大名誉教授 濱川勝彦さん
- ☆シンポジウム「横光利一 旅と故郷」 横光利一文学会 神谷忠孝(北海道大名誉教授)、竹内清巳(東洋大名誉教授)、掛野剛史(埼玉学園大准教授)、司会 石田仁志(東洋大教授)の4氏



▲横光の旅と故郷を語るシンポジウム

文学会員約40名が加わり、過去最多の200名が熱心に耳を傾けていた。

また、会場には、絵手紙クラブ「いろは」の会員が描いた横光利一作品の大絵巻、個人所蔵の横光利一書簡も展示紹介され、参加者の目を引いていた。

翌16日は、横光利一文学会会員と一般参加者による「芭蕉と横光ゆかりのスポットを巡る」文学散歩を実施。上野高校の同窓会文庫横光利一資料展示室から上野公園の横光利一青春碑、俳聖殿を経て芭蕉翁記念館に入館。昼食後は、柘植公民館内の特別展示と文学碑、「横光公園」、「跳ね釣瓶の庭」を見学した。参加した研究者の中には横光の影響を受けた台湾の新感覚派を研究している留学生もいて、横光の「ふるさと」が印象に残ったと話していた。

## 今年もやります開放講座 「芭蕉と近代文学」とバス研修

- ①10月19日(日) 「芭蕉と正岡子規」
- ②11月8日(土) 「芭蕉と芥川龍之介」 講師 濱川勝彦さん(奈良女子大名誉教授) 会場 上野高校視聴覚室 時間 14:00~15:30
- ③11月15日(土) バスで巡る芭蕉ゆかりのスポット 大山田、柘植、花垣方面 集合 9:00 上野高校正門前 解散予定 15:30 昼食代のみ自己負担をお願いします。 ※お申し込みは、同窓会事務局(1面右上に表示)へハガキで。 ①②と③の希望を分けて記入して下さい。

## ゆらめく“鬼”を描く 箱林一正さん(高10回)

6月、元阿山町教育長の箱林一正さんが油絵の個展を開いた。(写真) 上野天神祭の「ひよろつき鬼」を描いた作品4点が中心だ。

本格的に絵を描き始めたのは50歳を過ぎてから。「ひよろつき鬼」を題材に描き続けて三重県の教職員美術展で教育長賞、理事長賞を授賞している。

「鬼の動きに惹かれ、そこに祭の華やかさ、楽しさを描き込むのがねらい。写真が一瞬の実像を切り取るのに対して、絵は自分の中の風景をキャンバスに表現するおもしろさがある」という。



### キャンパス訪問

最終章で、高校生に薦めたい最近の名著『唐詩推敲』の国志演義』や『西遊記』などにも通じるものがあります。

漢詩として昭和の漢詩人、土屋竹雨の「原爆行」「水爆行」を紹介され、歴史、平和教育の教材にもなると述べておられます。私たちの「いま」と漢詩、漢文とを繋ぐものは？

中国の思想や文学の中心は、現実を生きる人間そのものにあります。人間

苦勞などは全くありません。文学作品の楽しい世界の中に、知らず知らずのうちに引き込まれていったというのが、正直な印象です。

日本の王朝文学の土台になった白居易の作品に日本人はなぜ惹かれたのか、その魅力について教えて下さい。

白楽天に限らず、中国の古典を読む者へのいたわりなどに気づかされた。『論語』がまさにそうなのですが、人間の本性は善であるという性善説への確信は、読む者に底知れぬ勇気を与えてくれます。中国の古典は現代の私たちにもきつと「遅く生きている力」を与えてくれるでしょう。

かぐや姫は五人の貴公子たちを手玉にとり、そのプロポーズを次々と交わしてゆくのですから、この明るさは『三国志演義』や『西遊記』などにも通じるものがあります。

漢詩として昭和の漢詩人、土屋竹雨の「原爆行」「水爆行」を紹介され、歴史、平和教育の教材にもなると述べておられます。私たちの「いま」と漢詩、漢文とを繋ぐものは？

中国の思想や文学の中心は、現実を生きる人間そのものにあります。人間

漢詩として昭和の漢詩人、土屋竹雨の「原爆行」「水爆行」を紹介され、歴史、平和教育の教材にもなると述べておられます。私たちの「いま」と漢詩、漢文とを繋ぐものは？

中国の思想や文学の中心は、現実を生きる人間そのものにあります。人間



九州大の研究室で  
プロフィール  
しずなが たけし さん

1987年 都留文科大学卒業。九州大学大学院を経て、九州大学文学部助手、久留米大学助教授を歴任。2000年より九州大学文学部中国文学講座准教授。

【主な著書】『白居易「諷諭詩」の研究』(2000年)、共著『わかりやすくおもしろい中国文学講義』(02年)、『漢籍伝来』(10年)、共著『東アジアの短詩形文学』(12年)、『唐詩推敲』(12年)、共著『海がはぐくむ日本文化』(14年)。

中心の考え方は戦争は真つ先に否定されるべきものです。だから『老子』にも「兵は不祥の器」と断言されています。しかもその後、秦の始皇帝や項羽と劉邦の戦いからわかるように、中国では、あの広大な大地であるの影しい人間たちがぶつかり合い、世界史の上でも極めて早い段階から「血で血を洗う」悲惨な戦闘が繰り返されてきました。

司馬遷の『史記』はそのような人間の「負の遺産」に対して目をそらすことなく書き残そうとしています。司馬遷自身そのために自らを犠牲にした人だからかもしれません。この伝統は杜甫や白居易にも脈々と息づいています。

## 九州大学

# 白居易の詩に魅せられて

文学部准教授 文学博士  
**静永 健さん (高34回)**

漢詩として昭和の漢詩人、土屋竹雨の「原爆行」「水爆行」を紹介され、歴史、平和教育の教材にもなると述べておられます。私たちの「いま」と漢詩、漢文とを繋ぐものは？

中国の思想や文学の中心は、現実を生きる人間そのものにあります。人間

失敗ばかりのほろ苦い思い出ばかりです。でも生徒会副会長になり、生徒会室でいつもゴロゴロしていた記憶は忘れられません。二年生の担任だった吉永昌平先生が今も非常勤講師として出校されているそうですね。懐かしいです。俳優の椎名桔平さんは同期ですが今では私の妻が彼のファンですよ。

福岡の地から遠望された伊賀をどのように感じておられますか。

上野市駅前の産業会館がなくなり、高校時代の通学路だった銀座通りもすっかり人影が少なくなりましたね。お天神さんの拜殿が再建されているのも目に涙です。大学時代を過ごした山梨県ではみなこういいます。「人は石垣、人は城」。伊賀の将来を豊かにするのは、今後、伊賀から、上高からどんなすばらしい人たちが巣立ってゆくかにかかっています。後輩の皆さんには、ふるさとを大切にしながら大きく羽ばたいていけることを期待しています。

(取材 福田和幸 高18回)

漢詩として昭和の漢詩人、土屋竹雨の「原爆行」「水爆行」を紹介され、歴史、平和教育の教材にもなると述べておられます。私たちの「いま」と漢詩、漢文とを繋ぐものは？

中国の思想や文学の中心は、現実を生きる人間そのものにあります。人間

漢詩として昭和の漢詩人、土屋竹雨の「原爆行」「水爆行」を紹介され、歴史、平和教育の教材にもなると述べておられます。私たちの「いま」と漢詩、漢文とを繋ぐものは？

中国の思想や文学の中心は、現実を生きる人間そのものにあります。人間

漢詩として昭和の漢詩人、土屋竹雨の「原爆行」「水爆行」を紹介され、歴史、平和教育の教材にもなると述べておられます。私たちの「いま」と漢詩、漢文とを繋ぐものは？

中国の思想や文学の中心は、現実を生きる人間そのものにあります。人間

漢詩として昭和の漢詩人、土屋竹雨の「原爆行」「水爆行」を紹介され、歴史、平和教育の教材にもなると述べておられます。私たちの「いま」と漢詩、漢文とを繋ぐものは？

中国の思想や文学の中心は、現実を生きる人間そのものにあります。人間



プロフィール  
たきがわ・まさゆき さん

岡山大学大学院歯学研究科修了、岡山大学歯学部附属病院助手、米国イーストマン・デンタルセンター客員研究員、ボストン大学歯学部客員研究員を経て 1998年から医療法人緑風会ハロー歯科(岡山市)院長。日本笑い学会岡山笑わん会支部長。

【主な著書】『妊婦の歯科治療とカウンセリング』、『予防歯科導入と展開のキーポイント』

「人間の胎児は、お母さんのおなかの中ですでに笑っています。胎児が笑うのは人間だけです。もし、お母さんがしゃかめつ面をしていても赤ちゃんは笑います。その笑いあうことが親子のコミュニケーションなのだと思います。」

彼の語るこの言葉が、彼の歯医者さんとして、そして、笑い学会への取り組みの姿勢の全てを語っているのだと感じた。

(取材 峠美晴 高32回)

漢詩として昭和の漢詩人、土屋竹雨の「原爆行」「水爆行」を紹介され、歴史、平和教育の教材にもなると述べておられます。私たちの「いま」と漢詩、漢文とを繋ぐものは？

中国の思想や文学の中心は、現実を生きる人間そのものにあります。人間

(取材 峠美晴 高32回)

## 笑顔で元気を

### 笑いが増す

歯科医・笑い学会支部長 滝川雅之さん (高32回)

「笑い」は神様が人間だけに与えてくれたプレゼント。あなたの笑顔は、まわりの人々にも幸福をもたらします。

昨年10月、名張での講演「笑い」と健康く輝く笑顔でイキイキ元氣」の講師は同期の滝川雅之くん。産婦人科を併設して妊婦の歯の健康管理に力を入れている歯科医院の院長さんだが、その日の講演は、彼のもう一つの顔。「日本笑い学会」の支部長としてのお話。「病氣や悩みを抱えていても、わざと笑うこと」で、自然治癒力を高めることができそうですよ。会場の私たちも面白いことを思い出し、無理やり笑う練習。笑いすぎて涙が出てきた。

「笑顔の第一印象が勝負です」

メラビアンの法則によると、「想

高齢者サークル立ち上げ、常に挑戦の84歳 百上富美子さん(市女24回)

上野東町の「ふれあいプラザ」で高齢者のサークル「百の会」が毎月1回開かれている。発起人の百上富美子さんは84歳。友人たちが次々と認知症で施設に入所していくので慰問のサークルを作ろうと思ったのがきっかけだった。

伊賀市社会福祉協議会(ふれあいプラザ)の所長に相談したら、こちらでサークルを、との要望があり、定員15名の募集に現在17名の方が参加している。

認知症の原因の一つに、会話のない生活環境というのが挙げられている。核家族が進み、独居老人や

「笑い」は神様が人間だけに与えてくれたプレゼント。あなたの笑顔は、まわりの人々にも幸福をもたらします。

昨年10月、名張での講演「笑い」と健康く輝く笑顔でイキイキ元氣」の講師は同期の滝川雅之くん。産婦人科を併設して妊婦の歯の健康管理に力を入れている歯科医院の院長さんだが、その日の講演は、彼のもう一つの顔。「日本笑い学会」の支部長としてのお話。「病氣や悩みを抱えていても、わざと笑うこと」で、自然治癒力を高めることができそうですよ。会場の私たちも面白いことを思い出し、無理やり笑う練習。笑いすぎて涙が出てきた。

「笑顔の第一印象が勝負です」

メラビアンの法則によると、「想

漢詩として昭和の漢詩人、土屋竹雨の「原爆行」「水爆行」を紹介され、歴史、平和教育の教材にもなると述べておられます。私たちの「いま」と漢詩、漢文とを繋ぐものは？

中国の思想や文学の中心は、現実を生きる人間そのものにあります。人間

漢詩として昭和の漢詩人、土屋竹雨の「原爆行」「水爆行」を紹介され、歴史、平和教育の教材にもなると述べておられます。私たちの「いま」と漢詩、漢文とを繋ぐものは？

中国の思想や文学の中心は、現実を生きる人間そのものにあります。人間

(取材 米岡広美 高32回)

(取材 米岡広美 高32回)

# ただいま大河ドラマで「安国寺恵瓊」に

俳優 山路和弘さん (高24回)

今年のNHK大河ドラマ「軍師官兵衛」で毛利家の外交指南役「安国寺恵瓊」を演じている山路和弘君はわが同期生である。

「恵瓊は使僧、調略者、軍師……。何かとブラッくなイメージの強い人物で、暗黒寺」とも言われている。毛利に滅された一族の長なのに、毛利の交渉人として働いた。安芸武田を再興したくなかったのか……。大名にまで成ったのに……。などいろいろ憶測され余計に悪役の地位を築いてゆくのだろう。俺もブラックな役どころは多いが、それ以外の面をいくつか出せればいいなと思ってる。難しい役どころではあるが、とても好きな人

物だ」とのこと。役者としてのこだわり的一面を見た気がした。

NHKではテレビドラマの出演経験はあったが大河ドラマは初めて。「今年ハ映像の方も増やしていこうと劇団スタッフと話していた矢先の出演依頼で運が良かった」。この会報が同窓生の手元に届く8月頃は「安国寺恵瓊」の出演が頻繁になってくるという。

彼は、今年創立60周年を迎えた劇団「青年座」が1975年に設立した俳優養成所の第一期生であり、役者としてほぼ40年のキャリアがあり今も劇団を支えている。

その活動範囲は舞台、映画、TVドラマなど多岐にわたり、一番多いのは洋画の吹き替えだ。が、「舞台は自分が育った場所なので一番大切にしたい」とこだわりをみせている。ストリートプレイとミュージカルを両方こなせる数少ない役者である。2010年に「宝塚BOYS」と「アンナ・カレニナ」の2作品での演技で菊田一夫演劇賞を受賞している。

2003年3月、栗東芸術文化会館



▲恵瓊のメイクをした山路さん

での宮本重門演出のミュージカル「フアンタスティックス」を高校の同級生数名と観て楽屋まで訪ねた。それから病み付きになり、毎年、関西や名古屋での舞台の観劇ツアーを同級生や先輩、後輩と続けている。(本会報第5号でも紹介)

今年は大河ドラマの撮影で舞台は遠のいていたが、9月に東京の国立劇場でプレヒトの「三文オペラ」に出演する。東京近辺にお住いの同窓生の皆さん、ぜひ足を運んでいただき高同窓の役者「山路和弘」の演技を楽しんでください。

(取材 吉輪康一 高24回)

## 盆地系親不孝ポップユニット「白の無地」

池住祥平さん 中村弓哉さん (共に高57回)



▲池住さん おもちゃ箱のような箱のよう に詰め込んだ楽曲群を生みだし、周囲から力添えもあって

▲中村さん 笑い、数多くのパロディをおもちゃ箱のよう に詰め込んだ楽曲群を生みだし、周囲から力添えもあって

池住祥平、中村弓哉の同級生二人が2001年、中学生のときから緩やかに活動を始めた「白の無地」が結成11年目にして初ライブを実現させた。故郷の伊賀に対する優しい眼差しや諦念、前向きなゆるをこめて「盆地系親不孝ポップユニット」を自称。中村さんが作詞を担当し、池住さんが作曲から歌や演奏、レコーディングまで音楽面を全面的にプロデュースしている。掴みどころのない、爆笑には至らないゆるめの笑い、数多くのパロディをおもちゃ箱のよう

徐々に知名度も向上に。マスコットキャラクターである謎の生命体「青くん」とともにお茶の間への浸透が期待されている。

が、二人にとっては、「白の無地」の活動はその一部である。池住さんは、京都を本拠にギタリストとして、カオティック・ハードコアバンド・Arbusを牽引する傍ら、中川翔子さんのアルバム「GLICES」収録の「イイヨね」を作曲するなど注目を集め始めている。

一方、東京在住の「作詞家」中村さんはなんと、口笛の名プレイヤーでもある。2010 TOKYO 国際口笛音楽フェスティバル総合第7位、IWC 2014 総合第8位の実力者。世界でも珍しい口笛によるアンサンブル団体「東京口笛団」の設立や口笛演奏技術の研究等、口笛音楽の発展に貢献している。

伊賀の学校での稀有な出会いが魅力的な化学反応を起こし、日本中、そして世界へ拡がっている。

(取材 岡森史枝 高41回)

## 東京支部

11月16日に総会・懇親会開催

今年の総会・懇親会は、11月16日(日)午後2時から都市センターホテル(千代田区平河町)で開催します。講演では衛星測位システム協議会事務局長の西口浩さん(高9回)に「日々の生活に欠かせない重要インフラ・衛星測位システム」と題してお願いしました。詳細は10月発行の「伊賀の友垣」または東京支部ホームページをご覧ください。

昨年からの活動を振り返ると支部総会・懇親会の開かれないう年でしたので11月30日(土)に「東京の名庭園の秋を楽しむバス旅行」を企画しました。参加者は20名でしたが、綺麗な紅葉した歴史ある庭園の散策、ホテルでの昼食バイキングと楽し

## 名古屋支部

本年度の名古屋支部総会が6月14日にプリンセスガーデンホテルで盛大に開かれました。来賓として左橋同窓会長、事務局の福井先生にもご参加いただきました。参加者は29名で内女性はい旅行会でした。(写真)

毎年6月第二日曜日開催の新卒生歓迎会は6月8日に銀座三笠会館で開催しました。左橋佳三同窓会会長、土肥稔治校長先生、同窓会事務局の服部秀一先生、旧3年担任の藤森崇史先生のご出席をいただき、新卒生3名、上級生3名、支部会員24名の賑やかな会となりました。

その他、12月7日、8日東京上野公園で開かれたNINJAフェスタ、1月25日、2月23日に「三重テラス」で行われた「第9回伊賀学検定」のセミナーと検定試験等、支部会員の参加する伊賀関連の催しの多い年でした。

(支部事務局 中森建夫 高14回)

## 京阪神支部

毎年5月の最終日曜日に開催する支部総会が好天に恵まれた5月25日に大阪天満橋の大阪キャッスルホテルで開催されました。本部から左橋会長、福井事務局長を迎え、47名が出席しました。

会務・会計報告、役員改選等の議事のと、「伊賀百筆」編集委員で同窓会副会長でもある番條克治さん(高21回)が「横光利一の三重三中時代など」と題して講演されました。その前段では、同氏が在住の伊賀市東部大田地区での物産紹介や周辺山林の問題などを熱く訴えられました。

本題の「横光利一」については、当時の三重三中の「會報」から「利一」にかかる部分をピックアップした資料によるお話から、中学時代の動きが浮き彫りにされた感がありました。

後半の懇親会では、互いに一年振りの再会が故郷を懐かしみながらの又とない楽しいひとときを過ごしました。

(支部長 百本惇晃 高7回)

## 『統合失調症がやってきた』

ハウス加賀谷・松本キック著

幻聴、幻覚、ついにはドアにノブのない閉鎖病棟への入院。……統合失調症ってこんな病気なのか、とその実態に驚き、一気に読み通した。

十数年前、テレビで売れっ子になったお笑いコンビで片方のオーバーアクションが強烈な印象だった。が、やがてこの二人は世間から忘れられたように「松本ハウス」の名は聞かれなくなった。そして、今年、評判を呼んだこの本。著者はあの二人だった。

静かな相方、松本キックこと松本真一さんは上野高校第38回卒で創立百周年

## 『Visas and the Epic Journey』

by Akira Kitade

英文のこの書名を直訳すると、「ビザと壮大な旅」――原題は、本紙11号での本の紹介と昨年度の総会での講演「命のビザ遙かなる旅路」の英語版。

第二次大戦下のリトニア領事館で杉原千畝氏が発給したビザによって、ナチスの迫害を逃れるユダヤ人約6000人を救った話は広く知られている。そのユダヤ人たちが海路、ウラジオストクから敦賀港へ安

## 『統合失調症がやってきた』

年記念のお笑いイベントにこの二人も招かれた。二人がテレビから消えたのは人気落ちたのではなく加賀谷さんの発病、入院があったため。その間、コンビ復活を信じて闘病の相方を待ち続けた松本さん。

それから十年。復活した二人が、これまでの歩みを綴って出版した。世に多いタレント本とは一線を画している。松本さんは上野高校時代の話も書いている。お母さんも担任の先生も自分に干渉しない関わり方をしてくれた。大学を

中退して行き詰まった時も、母が根掘り葉掘り尋ねなかった。そこから一歩ずつ……。そして漫才にたどりつく。

加賀谷さんは、良き医師に出会ったこともさることながら、「芸人」という自分の居場所を見つけ、目的に向かっているところに感心した。統合失調症ってひょっとしてチョー生真面目な人がかかるのかも。私はまじめ、と思っ

ていたけれど大してまじめでもないのだと安心したり……。誤解されやすい病について少し理解できたように思う。

(安屋宣子 高19回)

# 各回のつづきとあらい

## 上中会 第23回総会

6月1日、ヒルホテル・サンピア伊賀で開催。出席会員数39名で年々減少傾向だが今回も遠路、取手市から夫婦同伴の出席もあった。最高齢は33回生の96歳が2名。最も若い49回生は80歳で一旦入学してから学制改革のため新制中学へ移った。

総会は、佐賀会長(45回)の挨拶に始まり、来賓の岡本伊賀市長、左橋同窓会長、土肥上高校長からご祝詞を賜った。市長のお心遣いで、ご持参のCDから上中校歌が流され、爽やかな雰囲気のもとで会は進行した。

議長に北岡氏(47回)が選出され、事業報告、会計報告に次いで総会永年出席者の表彰(88歳以上、10回以上の出席)で今年度は4名の授賞。記念講演は、広出良夫氏(39回)の「私の人生九十年の思い出」。アトラクションは



挨拶ぬきの「あいさつ」が交わされ、たちまち青春が甦って、昔話に酔い、アルコホルに時を忘れてました。わが46期生は、上野中学校の卒業証書を最後に授与された卒

## 僕らの四六会(よんろくかい)

僕らの「四六会」は上野中学46期生の同年会です。毎年4月6日にクラス会を開きます。今年も名張市赤目「山水園」で27名が参集して賑やかでした。東京や四国から前泊・後泊で来会する者もいました。

《勝ちいくさの先陣と、負け戦の殿(しんがり)はものふの誉なり》と聞かされました。別に吾々は自分で名乗り出て殿をつとめた訳でもありませんが、しかし、皆の胸のうちには「上中の誇りは僕らが最後まで、いのちの限り守りぬく」という矜持がシャーンとしていて、「自強不息」が生きています。

「四六会は、続く限り続けていく」ということになり、来年の世話人幹事は福井佑吉君が引き継ぎました。現在、四六会では、大久保恵司君が150回を重ねて世話人を続けたゴルフクラブが健在で、片や清原清誠君が主宰する四六期生基の会が、これも20年間、年4回の開基大会をつづけています。すでに八十三歳を越え、来年4月6日には何名集まってくるか。悠々自適、皆それぞれに人生の最終仕上げにとりかかっています。ガンバレ!! 四六会!! (松原美省)



伊賀邦楽会(代表・曾我岱山氏)の合奏(尺八、三弦、箏)で「八千代獅子」、「北海民謡調」を四名が熱演。久しぶりに邦楽の趣深さを味わった。稲辺氏

## 上中S21年入学(49回)

第14回同期会は、平成26年5月18日、名張シティホテルで開催しました。

我々は終戦の翌春入学し、3年生の5月学制改革により余儀なく新制中学に転校し卒業しました。また全員が、昨年度内に「傘寿」の大きな人生の節目を終えています。

そのためか今回の出席者は過去最低の23名となり、会員の大半が体調不良を訴えています。この状況を踏まえ、今回は「同期会の継続開催について」をテーマに意見交換を行いましたので、この事を中心にご報告します。

幹事からの趣旨説明後多くの意見が発表され、それらの総括として、①同



期会は期限を設けず継続開催することを基本とし、会員各自の体調管理の強化と共に、幹事業務の軽減を図るため、開催案内不要申出者と長期欠席者等には案内状を送付しない。②幹事団は出身地域別の4班で編成、持回りとする。これに基づき来年度幹事を選出いたしました。(幹事代表 川口大仁)

## 祝傘寿の同窓会 高3回



卒業以来、一昨年を除いて毎年開いてきた。よくも続いたものだと思う。それが今回で最後の幕引きとなった。昨年、10月7、8日。会場は過去3回利用しているエクシブ鳥羽アネックスホテル。オーナーの一人前沢君が今回も責任幹事に、会計はベテランの藤森君が、案内、司会を私が担当することとなった。

前沢君の開会挨拶、藤森君の乾杯の音頭で宴が始まり、自己紹介に傾聴しながら運ばれるごちそうに舌鼓を打った。記念に持ち帰った鶴亀の水引の細工物は恰好の思い出の品になった。記念写真やスナップは樋口君がセミプロ級の腕前を發揮。荒木君(東京)の中心めで二次会のカラオケに移った。祝還宮特製の焼酎ビンと赤福を少々記念品に、各々惜別の情にかられながら解散となった。(奥 友親)

## 上九会

「上九会」(上高9回卒業生)は、東京支部主催の年にあたり、ホテルニューオータニに泊まりスカイツリーにのぼろうとのキャッチフレーズで計画しましたところ、52名と予想以上の参加があり、不参加者からいただいた近況報告や実施後の感謝のお便りも数多く届いたのは望外の喜びでした。11月10日、2時のチェックイン前から再会を喜びあう光景が繰り広げられ

ました。6時からの宴会場では友の演出によるハーモニカと全員の合唱、会場は一気になごやかな雰囲気につつまれ、絆の深まりを実感する楽しいひとときでした。翌日はスカイツリー観光。前日が東京地方は強風予報のため展望中止になったため、祈る気持ちで迎えた朝は晴天、無風。エレベーター運行の知らせに幹事一同喜びあいながら手筈通りにご案内しました。下から見上げるツリーの高さ、上から眺める首都の景色を

## 高14回

上野高校第14回普通科卒業生同窓会が11月23日、80名の参加者をもって、上野赤坂町の「三田清」で開かれまして。卒業50周年と共に古希という節目を迎え、今回はぜひ伊賀上野での声を受け、地元在住者が幹事を担当しました。



当日は、卒業以来という懐かしい人、あの頃のままだかかわらないほど変身している人。が、集まればすぐにあの頃に戻れるのが同級生の良さです。二次会のカラオケと共に、会場が終始明るい

## 高16回

9月29日、上野高校第16回卒業生の集いが十数年ぶりに上野フレックスホテルで行われました。卒業は昭和40年だったので、全員が高齢者です。未だ一線の仕事をしている方、退職され悠々自適の生活を送っている方、いろいろでした。恩師、濱川、森本の両先生にも出席いただき、和やかに行うことができました。久しぶりの会でしたので、90名ほどの集まりとなりました。特別な企画もなく、ただひたすらに飲み、食い、しゃべる会となりました。



後日談ですが、一次会の後、二次会、その後もあり、帰宅が午前様という強者もあつたように聞いております。まだまだ皆さんお元気で驚きました。(村井 皓)

## 平成25年度 寄贈図書等

会員寄贈者の自著(敬称略) 「白居易「諷諭詩」の研究」 「東アジアの短詩形文学」 「唐詩推賞」 静水 健(高34回) 貝澤 治範(高14回) 詩集「奏人」 宮田 安彦(高32回) 「ライフデザイン学概論」 澤田喜久男(高3回) 「芭蕉伝記叢考」 川口 昌良(高27回) 「電子工作ガイドブック」 川口 昌良(高27回) 校史関係資料 旧・上野中学「教務手帳」2冊、昭和18、19年度分 元教師・福岡法重氏(新制四日市高校初代校長) 遺族から 横光利一関係 「成城国文学」 30号抜き刷り 成城大院長 鳥居千恵氏から

東京支部歓迎会に参加して

伊賀から約450km離れた都会での生活にあこがれ、約10名が関東圏の大学、専門学校に進学した。65回生が卒業して約2ヶ月、彼らはどのように成長した姿を見せてくれるだろうと期待に胸を膨らませて会場である銀座三笠会館に足を運んだ。65回生3名、64回生2名、61回生1名の計6名が出席し、学生同士の学年を超えたつながりや東京支部の諸先輩方とのつながりが持った大変良い機会だった。

東京支部長、同窓会長、校長の挨拶の後、自己紹介の時間。出席者をねぎらう言葉、生き生きと学生生活を過ごす様子、将来の展望、自信に満ちあふれた表情で語ってくれた。伊賀を離れた大変良い機会だった。



東京で暮らした2ヶ月間が彼らに成長させたことが感じられた。彼らの将来がとても楽しみである。これから幾多から幾多の困難を乗り越えていかなければならないが、この会でご縁をいただいた諸先輩方の助けを借りながら充実した学生生活を送り、日本を担う人材として成長して欲しい。

(前学年主任 藤森崇史 高49回)

在校生のみなさんへ

上野高校を卒業される時に入会していた同窓会は、卒業後も同期生同士の交流さだめはもちろん幅広い年代の先輩、後輩の皆さんのつながりを支援する活動をしています。2面に掲載の開放講座や「雪解」のついで、右下の記念講演会には現役上高生での参加も歓迎します。また、伊賀から離れても東京、名古屋、京阪神の支部の活動に参加していただけます。右の記事のように、東京支部は関東圏に進学・就職した人のために毎年6月に歓迎会を開いてくれます。

柔らかないノイズ感

平成24年10月13日にオープンした明治校舎の「HAQUAホール」も今年で3年目を迎えた。

音楽科としての開催行事は、初年度には5回、昨年度は9回、本年度はすでに3回と、年々増えてきている。音楽選択生にとって「HAQUAホール」での演奏発表が大きな目標となっている。「HAQUAホール」の良い点は、何となくその空間の響きである。ピアノソロや室内楽などを演奏する時にその効果を発揮する。毎年、来演のプロ奏者にも毎回決まって「良い響きがありますね」とお褒めの言葉を頂く。その理由は、まず、楽器の演奏には床材の影響が大きく、木材の場合はステージも楽器の一部と考えられる。また、明治校舎の漆喰の壁も音色をより魅力的なものにしている。

上野高校のいま

ここ数年伊賀地区では中学生の人口が急減、その影響は上野高校にも及び、今年度の一年生は279名でのスタートとなりました。「地域の期待に応える進学校」として平成21年度から理数科を設置し、難関大学合格を目標に少人数教育を実施しています。またPTA主催の土曜講座に加えて本年度から査前土曜学習会を開き、毎回多数の生徒が参加しています。

生徒会は、昨年度の活動の成果として、念願の清涼飲料水の「自動販売機」の設置が実現させました。ごみ処理など心配されたマナーの面も良好です。部活動では、サッカー部がインターハイ予選でベスト8に入り決勝トーナメントに進出。あの、四中工に敗れたものの「古豪復活」を感じさせる一戦でした。文化部では、大会での上位進出常連の吹奏楽部やギターマンドリン部だけでなく茶道部や美術部、放送部など県、市をはじめ地域との連携事業

に参加するクラブが増えてきました。また、「上野高校HP」もPTAの支援で今年度中にリニューアルします。教職員は、20〜30代の若く澆刺とした先生が増え、上高在籍13年目が最長です。かつてのように20年以上勤続の「生き字引」のような先生はいません。が、非常勤講師の中では勤続30年以上のY先生、N先生がいっぱいいますので、ぜひ、母校へ足をお運びください。(教諭 平野昌二 高31回、教諭 富澤要樹 高34回)



福岡友也 高38回

平成26年度(2014年) 総会のご案内

とき 10月18日(土)
■14:00~ 記念講演 ■15:00~ 総会 ■16:00~ 懇親会(会費3,000円)

ところ 上野フレックスホテル
伊賀市平野中川原544-2 ☎0595-21-3111

記念講演 (一般公開)
徳川美術館副館長 講師 四辻 秀紀さん(高25回)
演題 「千年の時空を越えて ―国宝「源氏物語絵巻」の世界―」

講師プロフィール
1983年から徳川美術館の学芸員に。学芸課長、企画情報部長を経て現職。南山大学、中京大学、愛知淑徳大学などの非常勤講師を兼務。専門は、古代中世絵画史・古筆ならびに料紙装飾史。主な著書に「源氏物語絵巻」、「古墨」、「新講 源氏物語を学ぶ人のために」(共著)、「日本美術全集5 王朝絵巻と貴族の営み」(共著・小学館)など。企画した主な展覧会「国宝 源氏物語絵巻」(1985-1995・2005)、「源氏物語絵巻と王朝人の美意識」(1988年)、「慶安の時代」(1991年)、「かなー王朝の雅び」(1995年)、「国宝 紫式部日記絵巻と雅びの世界」(2000)、「彩られた紙―料紙装飾」(2001)、「よみがえる源氏物語絵巻」(2005)、「王朝美の精華・石山切」(2007)、「王者の華 牡丹」(2010)、「尾張徳川家の雛まつり」(1989〜2011)など

懇親会アトラクション
上野高校吹奏楽部OB有志によるビッグバンド演奏

25年度総会報告
平成25年度の総会が、去る10月6日出席者約90名を迎えて上野フレックスホテルにおいて開催され、前月に行われた役員会・理事会の議案が原案通り承認されました。総会に先だつて記念講演会では北出明さん(上高13回、フリーランス・ライター)が「命のビザ、遙かなる旅路」という演題で、命のビザを手にして日本にたどり着いたユダヤ人に救いの手を差し伸べた日本人たちの活動の様子と、当時のアルバムに残された7人のユダヤ人の手掛かりを得たいと渡米。関係者や家族に会ってきた様子をパワーポイントや資料を用いて興味深く語っていただきました。総会終了後の懇親会では、コーラスグループ「サラタ」のメンバーによる合唱を聴きながら楽しい時間を過ごしました。懇親会の参加者は約60名に上り、昨年同様盛会でした。

平成24年度(平成24年9月1日~平成25年8月31日)三重県立上野高等学校同窓会一般会計収支決算書

Table with 4 columns: 科目, 予算額, 決算額, 対予算比. Includes 1. 収入の部 and 2. 支出の部.

平成25年度(平成25年9月1日~平成26年8月31日)三重県立上野高等学校同窓会一般会計収支決算書

Table with 5 columns: 科目, 本年度予算額A, 前年度予算額B, 前年度決算額C, 対比A-B, A-C. Includes 1. 収入の部 and 2. 支出の部.

Table with 4 columns: 科目, 予算額, 決算額, 対予算比. Includes 3. 事業費 and 4. 助成費.

Table with 5 columns: 科目, 本年度予算額A, 前年度予算額B, 前年度決算額C, 対比A-B, A-C. Includes 3. 事業費 and 4. 助成費.

会費納入のお願い
会員の皆さまにおかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。本同窓会ではご承知の通り、非常に活発な活動を行っております。
・同窓会報「白亜」の発行
・ホームページの運営
・一般公開講座(ふるさと伊賀「再発見」)
・「雪解」のついで「の後援
・百周年記念施設の維持管理
・東京、名古屋、京阪神支部への支援
・上中会、くればは会、扇の芝会への支援
・各学年同窓会への支援
・上野高校への支援
・同窓会名簿の管理
・総会の開催
・HAQUAホールの支援
このような同窓会活動は、全会員にお願いしております。年費と毎春の卒業生による新入会員の入会金により運営されています。会費納入に関しまして、以前は約2,800名の会員のご協力を得られていたが、近年、ご協力いただいている会員は2,100名あまりとなつてきております。また、上野高校のクラス減にともない入会金も減少しております。
上野高等学校同窓会の経済基盤を強固なものにし、母校への支援、会員への情報サービスの充実、更なる発展のために、今年度も年費(一口2,000円)の納入につきまして、会員皆さま方のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

「宛名不明会員解消」にご協力を
上野高校同窓会は4万2000名以上の会員により構成されており、会員情報の正確な把握と情報管理は同窓会活動の根幹であると考えています。しかし、年月の経過にともない、転居・ご逝去等により、住所等の情報が同窓会事務局で把握できなくなっているケースが出てきております。
ご住所等が事務局で把握できなくなっている会員の方には「白亜」をお届けできません。(学年同窓会開催案内状の宛名情報も幹事様に提供できなくなっています。)このような方について、ご本人あるいはご家族、ご友人の方から同窓会事務局までご連絡をお願いいたします。また、ご逝去された場合も、同様にお願ひ申し上げます。ご友人から連絡をいただいた場合は、ご本人(ご家族)に確認の上、情報を管理させていただきます。
この取り組みは、会員の基礎情報正確化のためであつて、お知らせいただいた情報をご本人(ご家族)の了解なく「同窓会名簿」に掲載することはありません。ご協力をよろしくお願いいたします。